

政策	22 生活環境の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民全般						
施策が目指す姿	種別に応じた適切な適切な規模・機能を有する公園緑地の整備や地域の主体的な取り組み等による既存公園の維持・管理を進める。 墓地需要に対応した新たな墓園の整備や既存墓園の維持・管理、斎場の再整備を図る。 定住を促す市営住宅の適正な維持・保全や利便性を高める生活道路の整備を図る。						
成果指標	居住環境の整備に対する市民満足度・・・5年間(平成25年度～平成29年度)で65%(現状値55.5%) 斎場墓地に対する満足・・・5年間(平成25年度～平成29年度)で50%(現状値-) 道路の整備・保全に対する市民満足度・・・5年間(平成25年度～平成29年度)で60%(現状値50.2%)						
目標達成状況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [%]	予定				65.00	
		実績				55.10	
	成果指標2 [%]	予定				50.00	
		実績				57.70	
	成果指標3 [%]	予定				60.00	
		実績				45.80	
	成果指標4 [%]	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	2,321,662	2,352,551	1,977,634	1,907,844	2,224,567	
	実績	2,191,552	2,214,085	1,814,427	1,906,432	2,101,408	
内部評価	貢献度	基本方針の「心地よく暮らせるまちづくり」を進める上で公園緑地や斎場・墓園、市営住宅、生活道路等の整備、維持管理は本施策指標である市民満足度の重要な要素となる。					
	達成状況	下位単位施策である施設等の整備・維持管理状況については概ね目標通り進捗している。新斎場については、調査業務等を実施している。					
	課題	公園施設や生活道路において、整備や維持・修繕が十分でない箇所が見受けられる。また、新斎場については、スケジュール履行のため更なる事業推進を図る必要がある。					
	取組方針	各施設等の現状把握に努め、計画的な整備及び適正な維持・管理を実施していく。また、新斎場については、施設の供用開始実現のため、関連事務を確実に履行する。					
外部評価	本基本施策は、居住環境の整備、斎場・墓地、道路の整備・保全に対する市民満足度が成果指標に設定されているが、現状値は50%を若干上回る程度であるが、単位施策及び各事務事業はほぼ目標を達成しており、進捗状況は良好であると判断する。 しかしながら、公園施設の老朽化や衛生環境、生活道路の整備・維持修繕が行き届いていない箇所がある等、課題が山積している状況も見受けられることから、今後においても、各事業を計画的に進めて行く必要がある。その際、市民ニーズに十分注視することを心掛けられたい。 また、新斎場及びつがの里の整備及び市営墓地の不足による新墓地造成等の事業が計画されているが、大型の公共事業を行うに際しても、市民の声に耳を傾け、慎重に事を進められたい。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	2201	公園緑地の維持・整備				443,334	100
	2202	衛生環境の充実				578,706	100
	2203	住環境の維持・向上				1,079,368	99

平成29年度 基本 施策評価表 補表

施策	22 生活環境の充実		
区分	妥当性	妥当	施策の目的を達成するために有効である。
	コスト削減の余地	有	コスト削減のため、効率的な維持管理につとめる。
	受益者負担	適正	受益者負担については、適正である。
	上位貢献度	有効	施策の目的を達成するために有効である。
	類似事業の有無	無	代替事業はない。
	成果向上の余地	有	適切な事業実施により、適正な維持管理が見込まれる。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	基本方針の「心地よく暮らせるまちづくり」を進める上で公園緑地や斎場・墓園、市営住宅、生活道路等の整備、維持管理は本施策指標である市民満足度の重要な要素となる。	
	達成状況	「道路、河川、公園の美化活動については、アダプト制度により自治会単位で市民がボランティア活動に参加することができるので、制度の趣旨を多くの方に理解していただき、1人でも多くの市民に協力してもらおうべき」とのご指摘につきましては、市民への制度理解推進に取組みアダプト制度登録団体の増加を図った。	
	課題	施設等の整備や適正な維持管理に努めていく必要がある。	
	取組方針	各施設の老朽化状況等などの現状把握に努め、計画的な整備・補修・管理を実施していく。また、道路・公園施設等の管理について、地域住民などの協力をいただきながら、全市的にアダプト制度を推進する。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	基本計画期間内における各事業への取り組みが、基本方針の「心地よく暮らせるまちづくり」を実現するための重要な要素となる。	
	達成状況	各下位単位施策については、概ね目標値通り進捗している。また、基本施策の成果指標である「斎場墓地に対する満足度」は、目標値を達成しているが、「居住環境の整備に対する満足度」、「道路の整備保全に対する満足度」については、目標値を下回る結果となった。	
	課題	施設等の整備や、急速に進行している各老朽化施設等への長寿命化対策実施のため、財源確保が必要である。	
	取組方針	各施設等の調査点検を強化し要望等による市民ニーズを把握することで、計画的な整備・補修・管理を実施し、市民満足度の向上を図る。	